

3. 施設整備に関する基本的な考え方

留保地の活用による施設整備に当たっては、利用計画で整理した従来の枠組みを基本としつつ、市における関連計画や、利用計画策定後における社会情勢の変化を踏まえ、地域に開かれ市民に親しまれる多様な機能を備えた空間づくりを目指すこととします。

また、このたびFC東京から提案があった市との連携による施設整備に関する取組は、利用計画を実現するとともに、市民がトップスポーツチーム等をより身近に感じられるようになるほか、市民の交流や新たな活動場所の創出につながるものであることから、その提案内容を生かしながら、取組を進めていくこととします。

なお、留保地の活用による施設の整備に当たっては、地域経済の活性化や周辺に及ぼす影響（道路交通環境、歩行者等の安全性、騒音等）のほか、自然環境調査の結果に基づき必要となる保全対策に留意することなど、幅広い視点を持ちながら取組を進めていきます。

（1）利用計画を基本とした取組の推進

市は、平成20年3月に策定した利用計画において、留保地の活用に関する市の方向として、調布市総合計画等の上位計画との整合や、周辺地域との調和を考慮する中で、「防災・スポーツ・レクリエーション機能を有する公園」を整備することとしています。

また、この基本的な方向を踏まえつつ、留保地の整備に当たっては、調布市地域防災計画に基づく防災機能の確保と災害時の活用に留意したゾーニングや、市全体のスポーツ施設の再配置の検討を踏まえたスポーツ施設の整備、隣接する西町公園・都立武蔵野の森公園との連携や一的な利用など、5つの基本的な考え方を施設整備の根幹としています。

FC東京との連携による留保地での施設整備は、市における利用計画の実現を目指すものであることから、その枠組みを基本とした取組を進めていく中で、様々な意見やニーズ等を踏まえ、可能な対応について検討していきます。

（2）調布市都市計画マスターplanや公共施設マネジメントの基本方針を踏まえた取組の推進

調布市都市計画マスターplanにおいては、留保地の活用について、利用計画策定以降の周辺地域における施設整備等の状況の変化や、民間活力の活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針などを踏まえ、多角的な視点から検討を行っています。

また、国の動きと連動して策定した、市における公共施設等マネジメントの基本的な考え方となる調布市公共施設等総合管理計画では、民間活力等の活用を基本方針の一つに位置付け、施設の整備や運営において、民間事業者等との連携を推進することとしています。

留保地の活用による施設整備に当たっては、こうした各分野における市の基本方針に沿った対応を図ります。

（3）市民利用に留意した取組の推進

利用計画にあるとおり、留保地の活用による取組は、「防災・スポーツ・レクリエーション機能を有する公園」の整備を目指すものです。そのため、FC東京との連携による留保地での施設整備においても、その枠組を基本に対応していくことから、当然ながら市民の利用機会の確保に留意することが必要です。

そうしたことから、FC東京の練習拠点としての機能を有する施設についても、イベントの実施やトップスポーツチーム等の観覧など、市民におけるスポーツを「する」の視点のみならず、「みる」、「ささえる」といった、多様な関わり方を尊重したスポーツ環境の実現を目指して、多角的な視点から市民の利用に資する機会の確保に努めます。また、留保地に隣接する西町公園との一体的な活用を通じて、多くの市民に利用していただける施設の整備を目指します。あわせて、施設の利用における市民の利便性や安全性にも留意していきます。

（4）都市公園の多面的な機能の推進

公園は、幅広い年代の市民にとって、自然とのふれあいやレクリエーション活動、運動、文化活動など、多様な活動の拠点となるものです。そのため、遊具をはじめ、グラウンドやベンチ、駐車場やトイレのほか、植栽や花壇など、都市公園としての機能を生かすとともに、インクルーシブの視点も踏まえながら、誰もが快適に過ごし憩える施設の整備を目指し、日常生活の中で身近に感じ、愛着や親しみを持てる空間として利用できる環境を整えます。

（5）スポーツ資源を活用したにぎわいの創出・交流の促進につなげる取組の推進

調布市スポーツ推進計画では、豊富なスポーツ資源を活用しつつ、誰もが「する」、「みる」、「ささえる」といった視点も含めた、市民の多様な関わり方を尊重したスポーツのまちづくりを掲げています。

こうした考え方を踏まえ、留保地を活用して整備するスポーツ施設については、施設の利用をはじめ、トップスポーツチーム等の観覧や応援、イベント開催時におけるボランティア活動など、様々な立場・状況の人とともにスポーツを楽しめる環境を充実させることを通じた市民の参加を促すことを目指します。あわせて、スポーツ施設に関しては、その利用促進を図る観点から、施設の広さや機能等に鑑みつつ、様々な用途での利用を想定するなど、柔軟な運用について検討していきます。

（6）調布市地域防災計画を踏まえた防災機能の整備

調布市地域防災計画では、留保地に整備する施設の特性に応じて、災害時には、帰宅困難者への対応のほか、物資の備蓄・仕分けを行う倉庫を整備することで、物資の輸送拠点としての活用も見込んでいます。こうした考えを踏まえ、日常の公園機能の活用と併せて、大規模災害時の被災者等の支援において、実効性の高い機能を発揮する観点を踏まえた施設整備に取り組みます。